

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年5月14日

**【四半期会計期間】** 第66期第1四半期(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

**【会社名】** 扶桑電通株式会社

**【英訳名】** FUSO DENTSU CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 児玉栄次

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区築地五丁目4番18号

**【電話番号】** 03(3544)7211(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役常務執行役員管理本部長 星野博直

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区築地五丁目4番18号

**【電話番号】** 03(3544)7211(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役常務執行役員管理本部長 星野博直

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、一部の営業所において行われていた不適切な取引について、当社と利害関係を有しない外部の専門家から構成される第三者調査委員会を設置し調査を進めてまいりました。当社は、平成25年5月2日付で第三者調査委員会からの調査報告を受け、財務諸表の修正等必要と認められる訂正を行うことといたしました。

これらの決算訂正により、当社が平成23年2月10日に提出いたしました第66期第1四半期(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)に係る四半期報告書及び平成24年12月14日提出の第66期第1四半期(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)の四半期報告書の訂正報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 1 受注及び販売の状況

###### (1) 受注実績

###### (2) 販売実績

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1) 経営成績の分析

###### (2) 財政状態の分析

###### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

#### 第5 経理の状況

##### 1 四半期財務諸表

###### (1) 四半期貸借対照表

###### (2) 四半期損益計算書

###### 第1 四半期累計期間

###### (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

##### 注記事項

###### (1 株当たり情報)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等  
(訂正前)

回次		第65期 第1四半期 累計(会計)期間	第66期 第1四半期 累計(会計)期間	第65期
会計期間		自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 10月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成22年 9月30日
売上高	(千円)	<u>6,473,778</u>	<u>6,846,658</u>	<u>36,576,031</u>
経常利益又は経常損失( )	(千円)	<u>492,458</u>	<u>554,398</u>	<u>26,655</u>
四半期(当期)純損失( )	(千円)	<u>313,646</u>	<u>364,704</u>	<u>64,977</u>
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	1,083,500	1,083,500	1,083,500
発行済株式総数	(株)	8,701,228	8,701,228	8,701,228
純資産額	(千円)	<u>6,044,835</u>	<u>5,719,164</u>	<u>6,202,383</u>
総資産額	(千円)	<u>22,886,364</u>	<u>23,777,023</u>	<u>23,820,796</u>
1株当たり純資産額	(円)	<u>709.71</u>	<u>671.62</u>	<u>728.31</u>
1株当たり四半期(当期)純損失( )	(円)	<u>36.82</u>	<u>42.83</u>	<u>7.63</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
1株当たり配当額	(円)			12.00
自己資本比率	(%)	<u>26.41</u>	<u>24.05</u>	<u>26.04</u>
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	599,153	747,696	54,286
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	304,304	290,007	103,048
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	958,337	656,528	102,827
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,910,262	1,902,633	1,703,793
従業員数	(名)	1,089	1,071	1,085

～注略～

(訂正後)

回次		第65期 第1四半期 累計(会計)期間	第66期 第1四半期 累計(会計)期間	第65期
会計期間		自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 10月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成22年 9月30日
売上高	(千円)	6,457,205	6,830,955	36,111,917
経常損失( )	(千円)	500,893	571,284	38,447
四半期(当期)純損失( )	(千円)	322,082	381,590	130,080
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	1,083,500	1,083,500	1,083,500
発行済株式総数	(株)	8,701,228	8,701,228	8,701,228
純資産額	(千円)	5,917,272	5,518,048	6,018,153
総資産額	(千円)	22,730,548	23,572,841	23,632,316
1株当たり純資産額	(円)	694.74	648.00	706.68
1株当たり四半期(当期)純損失( )	(円)	37.81	44.81	15.27
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
1株当たり配当額	(円)			12.00
自己資本比率	(%)	26.03	23.41	25.47
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	599,153	747,696	54,286
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	304,304	290,007	103,048
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	958,337	656,528	102,827
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,910,262	1,902,633	1,703,793
従業員数	(名)	1,089	1,071	1,085

~ 注略 ~

## 第2 【事業の状況】

### 1 【受注及び販売の状況】

#### (1) 受注実績

(訂正前)

部 門	品 目	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
通信機器	通信機器設備	4,065,973	116.3	7,369,114	111.0
	販売手数料	9,631	109.5	88	
	小 計	4,075,605	116.3	7,369,202	111.0
電子機器	電算機	<u>1,841,404</u>	<u>112.1</u>	<u>3,295,032</u>	<u>164.8</u>
	システムソフト開発	374,759	98.7	1,043,891	107.1
	販売手数料	5,259	<u>34.7</u>		
	小 計	<u>2,221,422</u>	<u>109.1</u>	<u>4,338,924</u>	<u>145.9</u>
O A 機器	O A 機器	796,753	<u>127.9</u>	504,039	103.8
	サプライ用品	152,691	114.6	5,710	81.2
	小 計	949,445	<u>125.6</u>	509,750	103.4
保 守	通信機器設備保守	356,757	98.1		
	電算機・O A 機器設備保守	1,379,710	104.5	8,630	256.2
	小 計	1,736,467	103.1	8,630	256.2
合 計		<u>8,982,941</u>	<u>112.5</u>	<u>12,226,508</u>	<u>121.0</u>

～注略～

(訂正後)

部 門	品 目	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
通信機器	通信機器設備	4,065,973	116.3	7,369,114	111.0
	販売手数料	9,631	109.5	88	
	小 計	4,075,605	116.3	7,369,202	111.0
電子機器	電算機	<u>1,664,745</u>	<u>101.4</u>	<u>3,134,076</u>	<u>156.8</u>
	システムソフト開発	374,759	98.7	1,043,891	107.1
	販売手数料	5,259	<u>72.4</u>		
	小 計	<u>2,044,764</u>	<u>100.8</u>	<u>4,177,968</u>	<u>140.5</u>
O A 機器	O A 機器	796,753	<u>129.7</u>	504,039	103.8
	サプライ用品	152,691	114.6	5,710	81.2
	小 計	949,445	<u>127.0</u>	509,750	103.4
保 守	通信機器設備保守	356,757	98.1		
	電算機・O A 機器設備保守	1,379,710	104.5	8,630	256.2
	小 計	1,736,467	103.1	8,630	256.2
合 計		<u>8,806,282</u>	<u>110.6</u>	<u>12,065,552</u>	<u>119.4</u>

～注略～

(2) 販売実績  
(訂正前)

部 門	品 目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
通 信 機 器	通信機器設備	2,754,784	101.9
	販売手数料	9,558	108.7
	小 計	2,764,343	101.9
電 子 機 器	電算機	960,998	85.0
	システムソフト開発	236,178	85.1
	販売手数料	5,658	37.4
	小 計	1,202,835	84.5
O A 機 器	O A機器	995,683	190.9
	サプライ用品	154,239	114.5
	小 計	1,149,922	175.2
保 守	通信機器設備保守	356,757	98.1
	電算機・O A機器設備保守	1,372,799	104.2
	小 計	1,729,556	102.8
合 計		6,846,658	105.8

~注略~

(訂正後)

部 門	品 目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
通 信 機 器	通信機器設備	2,754,784	101.9
	販売手数料	9,558	108.7
	小 計	2,764,343	101.9
電 子 機 器	電算機	945,295	83.6
	システムソフト開発	236,178	85.1
	販売手数料	5,658	77.9
	小 計	1,187,132	83.9
O A 機 器	O A機器	995,683	194.2
	サプライ用品	154,239	114.5
	小 計	1,149,922	177.6
保 守	通信機器設備保守	356,757	98.1
	電算機・O A機器設備保守	1,372,799	104.2
	小 計	1,729,556	102.8
合 計		6,830,955	105.8

~注略~

#### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

##### (1) 経営成績の分析

(訂正前)

～前略～

この結果、当第1四半期会計期間の業績は四半期業績の特性もあり、受注高8,982百万円(前年同四半期比112.5%)、売上高6,846百万円(前年同四半期比105.8%)となりました。利益につきましては、原価率の低減および販売管理費の削減につとめてまいりましたが、営業損失544百万円(前年同四半期営業損失484百万円)、経常損失554百万円(前年同四半期経常損失492百万円)、四半期純損失は364百万円(前年同四半期純損失313百万円)となりました。

当第1四半期会計期間の部門別売上高は、通信機器部門2,764百万円(前年同四半期比101.9%)、電子機器部門1,202百万円(前年同四半期比84.5%)、O A 機器部門1,149百万円(前年同四半期比175.2%)、保守部門1,729百万円(前年同四半期比102.8%)となりました。

(訂正後)

～前略～

この結果、当第1四半期会計期間の業績は四半期業績の特性もあり、受注高8,806百万円(前年同四半期比110.6%)、売上高6,830百万円(前年同四半期比105.8%)となりました。利益につきましては、原価率の低減および販売管理費の削減につとめてまいりましたが、営業損失546百万円(前年同四半期営業損失492百万円)、経常損失571百万円(前年同四半期経常損失500百万円)、四半期純損失は381百万円(前年同四半期純損失322百万円)となりました。

当第1四半期会計期間の部門別売上高は、通信機器部門2,764百万円(前年同四半期比101.9%)、電子機器部門1,187百万円(前年同四半期比83.9%)、O A 機器部門1,149百万円(前年同四半期比177.6%)、保守部門1,729百万円(前年同四半期比102.8%)となりました。

##### (2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第1四半期会計期間末の総資産は、23,777百万円となり、前事業年度末に比べ43百万円の減少となりました。

負債につきましては、18,057百万円となり、前事業年度末に比べ439百万円の増加となりました。負債の主な増加理由は、賞与引当金が減少する一方、短期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産につきましては、5,719百万円となり、前事業年度末に比べ483百万円の減少となりました。純資産の主な減少理由は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものです。

(訂正後)

当第1四半期会計期間末の総資産は、23,572百万円となり、前事業年度末に比べ59百万円の減少となりました。

負債につきましては、18,054百万円となり、前事業年度末に比べ440百万円の増加となりました。負債の主な増加理由は、賞与引当金が減少する一方、短期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産につきましては、5,518百万円となり、前事業年度末に比べ500百万円の減少となりました。純資産の主な減少理由は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

(訂正前)

～前略～

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動で使用した資金は、前年同四半期に比べ148百万円増加し747百万円となりました。主な要因は、当第1四半期の税引前四半期純損失が570百万円であったことと、たな卸資産および売上債権の増減などによるものです。

～後略～

(訂正後)

～前略～

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動で使用した資金は、前年同四半期に比べ148百万円増加し747百万円となりました。主な要因は、当第1四半期の税引前四半期純損失が587百万円であったことと、たな卸資産および売上債権の増減などによるものです。

～後略～



## 第5 【経理の状況】

### 1 【四半期財務諸表】

#### (1) 【四半期貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,902,633	1,703,793
受取手形及び売掛金	2 5,801,541	7,236,895
有価証券	99,910	399,911
商品	204,823	215,044
仕掛品	3,542,055	1,852,735
繰延税金資産	840,491	621,413
その他	564,132	891,257
貸倒引当金	61,334	68,732
流動資産合計	12,894,253	12,852,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,378,891	1,372,824
減価償却累計額	825,362	816,790
建物及び構築物(純額)	553,529	556,033
土地	218,410	218,410
その他	1,437,962	1,371,743
減価償却累計額	490,923	471,756
その他(純額)	947,039	899,987
有形固定資産合計	1,718,979	1,674,431
無形固定資産		
ソフトウェア	53,001	38,824
その他	22,131	36,143
無形固定資産合計	75,133	74,968
投資その他の資産		
投資有価証券	5,049,457	5,218,345
リース投資資産	589,018	586,843
差入保証金	468,576	480,870
繰延税金資産	2,945,737	2,899,100
長期未収入金	12,060	
その他	68,021	63,213
貸倒引当金	44,213	29,295
投資その他の資産合計	9,088,658	9,219,077
固定資産合計	10,882,770	10,968,477
資産合計	23,777,023	23,820,796

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,121,041	7,054,447
短期借入金	700,000	
未払法人税等	4,932	51,712
前受金	522,025	534,609
賞与引当金	367,267	861,756
受注損失引当金		1,870
その他	1,621,265	1,325,235
流動負債合計	<u>10,336,533</u>	<u>9,829,631</u>
固定負債		
退職給付引当金	6,197,840	6,230,861
役員退職慰労引当金	73,886	145,112
リース債務	1,404,815	1,366,638
その他	44,784	46,168
固定負債合計	<u>7,721,326</u>	<u>7,788,781</u>
負債合計	<u>18,057,859</u>	<u>17,618,413</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,083,500	1,083,500
資本剰余金	1,076,468	1,076,468
利益剰余金	4,120,442	4,536,244
自己株式	86,186	85,986
株主資本合計	<u>6,194,224</u>	<u>6,610,226</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	475,059	407,842
評価・換算差額等合計	<u>475,059</u>	<u>407,842</u>
純資産合計	<u>5,719,164</u>	<u>6,202,383</u>
負債純資産合計	<u>23,777,023</u>	<u>23,820,796</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,902,633	1,703,793
受取手形及び売掛金	2 5,597,358	7,048,415
有価証券	99,910	399,911
商品	204,823	215,044
仕掛品	3,542,055	1,852,735
繰延税金資産	840,491	621,413
その他	564,132	891,257
貸倒引当金	61,334	68,732
流動資産合計	12,690,070	12,663,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,378,891	1,372,824
減価償却累計額	825,362	816,790
建物及び構築物(純額)	553,529	556,033
土地	218,410	218,410
その他	1,437,962	1,371,743
減価償却累計額	490,923	471,756
その他(純額)	947,039	899,987
有形固定資産合計	1,718,979	1,674,431
無形固定資産		
ソフトウェア	53,001	38,824
その他	22,131	36,143
無形固定資産合計	75,133	74,968
投資その他の資産		
投資有価証券	5,049,457	5,218,345
リース投資資産	589,018	586,843
差入保証金	468,576	480,870
繰延税金資産	2,945,737	2,899,100
長期未収入金	12,060	
その他	186,927	166,703
貸倒引当金	163,118	132,785
投資その他の資産合計	9,088,658	9,219,077
固定資産合計	10,882,770	10,968,477
資産合計	23,572,841	23,632,316

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	7,117,974	7,050,197
短期借入金	700,000	
未払法人税等	4,932	51,712
前受金	522,025	534,609
賞与引当金	367,267	861,756
受注損失引当金		1,870
その他	1,621,265	1,325,235
<b>流動負債合計</b>	<b>10,333,466</b>	<b>9,825,381</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	6,197,840	6,230,861
役員退職慰労引当金	73,886	145,112
リース債務	1,404,815	1,366,638
その他	44,784	46,168
<b>固定負債合計</b>	<b>7,721,326</b>	<b>7,788,781</b>
<b>負債合計</b>	<b>18,054,792</b>	<b>17,614,163</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,083,500	1,083,500
資本剰余金	1,076,468	1,076,468
利益剰余金	3,919,327	4,352,014
自己株式	86,186	85,986
<b>株主資本合計</b>	<b>5,993,108</b>	<b>6,425,996</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	475,059	407,842
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>475,059</b>	<b>407,842</b>
<b>純資産合計</b>	<b>5,518,048</b>	<b>6,018,153</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,572,841</b>	<b>23,632,316</b>

## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第1四半期累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1 6,473,778	1 6,846,658
売上原価	5,370,732	5,766,903
売上総利益	1,103,046	1,079,754
販売費及び一般管理費	2 1,587,461	2 1,624,304
営業損失( )	484,415	544,549
営業外収益		
受取利息	2,497	495
受取配当金	8,903	9,247
仕入割引	7,175	3,664
保険解約返戻金	11,356	
その他	13,715	13,224
営業外収益合計	43,647	26,630
営業外費用		
支払利息	656	12,337
投資有価証券評価損	47,010	6,370
貸貸原価	1,606	1,481
貸倒引当金繰入額		12,060
その他	2,416	4,231
営業外費用合計	51,690	36,480
経常損失( )	492,458	554,398
特別利益		
投資有価証券売却益		2,850
貸倒引当金戻入額	3,446	7,453
特別利益合計	3,446	10,303
特別損失		
投資有価証券評価損	10,556	779
固定資産除却損		469
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		25,313
特別損失合計	10,556	26,563
税引前四半期純損失( )	499,568	570,658
法人税、住民税及び事業税	13,489	13,628
法人税等調整額	199,411	219,581
法人税等合計	185,922	205,953
四半期純損失( )	313,646	364,704

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1 6,457,205	1 6,830,955
売上原価	5,362,595	5,752,670
売上総利益	1,094,610	1,078,285
販売費及び一般管理費	2 1,587,461	2 1,624,304
営業損失( )	492,851	546,019
営業外収益		
受取利息	2,497	495
受取配当金	8,903	9,247
仕入割引	7,175	3,664
保険解約返戻金	11,356	
その他	13,715	13,224
営業外収益合計	43,647	26,630
営業外費用		
支払利息	656	12,337
投資有価証券評価損	47,010	6,370
貸原価	1,606	1,481
貸倒引当金繰入額		27,476
その他	2,416	4,231
営業外費用合計	51,690	51,896
経常損失( )	500,893	571,284
特別利益		
投資有価証券売却益		2,850
貸倒引当金戻入額	3,446	7,453
特別利益合計	3,446	10,303
特別損失		
投資有価証券評価損	10,556	779
固定資産除却損		469
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		25,313
特別損失合計	10,556	26,563
税引前四半期純損失( )	508,004	587,544
法人税、住民税及び事業税	13,489	13,628
法人税等調整額	199,411	219,581
法人税等合計	185,922	205,953
四半期純損失( )	322,082	381,590

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失( )	499,568	570,658
減価償却費	24,045	49,538
固定資産除却損		469
保険解約返戻金	11,356	
投資有価証券評価損益( は益)	57,566	7,150
投資有価証券売却損益( は益)		2,850
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		25,313
貸倒引当金の増減額( は減少)	1,818	7,518
賞与引当金の増減額( は減少)	498,393	494,488
受注損失引当金の増減額( は減少)	1,450	1,870
退職給付引当金の増減額( は減少)	48,697	33,021
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	47,571	71,226
受取利息及び受取配当金	11,400	9,742
支払利息	656	12,337
売上債権の増減額( は増加)	1,366,821	1,422,770
たな卸資産の増減額( は増加)	1,164,419	1,679,099
仕入債務の増減額( は減少)	6,269	75,246
長期未収入金の増減額( は増加)		12,060
その他	232,894	574,375
小計	606,061	700,296
利息及び配当金の受取額	9,430	12,286
利息の支払額	1,409	12,337
保険解約返戻金の受取額	11,356	
法人税等の支払額	12,469	47,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	599,153	747,696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	301,429	7,345
投資有価証券の償還による収入	47,732	348,583
有形固定資産の取得による支出	5,038	32,067
無形固定資産の取得による支出	3,544	3,669
敷金の差入による支出	45,240	12,333
その他	3,216	3,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	304,304	290,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	700,000
自己株式の取得による支出	64	200
配当金の支払額	41,597	42,340
その他		931
財務活動によるキャッシュ・フロー	958,337	656,528
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	54,879	198,839
現金及び現金同等物の期首残高	1,855,383	1,703,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,910,262	1,902,633

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失( )	508,004	587,544
減価償却費	24,045	49,538
固定資産除却損		469
保険解約返戻金	11,356	
投資有価証券評価損益( は益)	57,566	7,150
投資有価証券売却損益( は益)		2,850
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		25,313
貸倒引当金の増減額( は減少)	1,818	22,934
賞与引当金の増減額( は減少)	498,393	494,488
受注損失引当金の増減額( は減少)	1,450	1,870
退職給付引当金の増減額( は減少)	48,697	33,021
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	47,571	71,226
受取利息及び受取配当金	11,400	9,742
支払利息	656	12,337
売上債権の増減額( は増加)	1,384,185	1,438,473
たな卸資産の増減額( は増加)	1,164,419	1,679,099
仕入債務の増減額( は減少)	48,335	76,429
長期未収入金の増減額( は増加)		12,060
その他	266,032	558,959
小計	606,061	700,296
利息及び配当金の受取額	9,430	12,286
利息の支払額	1,409	12,337
保険解約返戻金の受取額	11,356	
法人税等の支払額	12,469	47,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	599,153	747,696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	301,429	7,345
投資有価証券の償還による収入	47,732	348,583
有形固定資産の取得による支出	5,038	32,067
無形固定資産の取得による支出	3,544	3,669
敷金の差入による支出	45,240	12,333
その他	3,216	3,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	304,304	290,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	700,000
自己株式の取得による支出	64	200
配当金の支払額	41,597	42,340
その他		931
財務活動によるキャッシュ・フロー	958,337	656,528
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	54,879	198,839
現金及び現金同等物の期首残高	1,855,383	1,703,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,910,262	1,902,633



【注記事項】

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

(訂正前)

当第1四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年9月30日)
1株当たり純資産額 671.62円	1株当たり純資産額 728.31円

(訂正後)

当第1四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年9月30日)
1株当たり純資産額 648.00円	1株当たり純資産額 706.68円

2 1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

(訂正前)

前第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失 36.82円 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益額 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失 42.83円 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益額 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失( ) (千円)	313,646	364,704
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純損失( ) (千円)	313,646	364,704
期中平均株式数 (株)	8,517,364	8,515,951

(訂正後)

前第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失 <u>37.81</u> 円 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益額 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失 <u>44.81</u> 円 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益額 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失( ) (千円)	<u>322,082</u>	<u>381,590</u>
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純損失( ) (千円)	<u>322,082</u>	<u>381,590</u>
期中平均株式数 (株)	8,517,364	8,515,951

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年5月14日

扶桑電通株式会社  
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 田 努 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 竹 貴 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている扶桑電通株式会社の平成22年10月1日から平成23年9月30日までの第66期事業年度の第1四半期会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、扶桑電通株式会社の平成22年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は四半期財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期財務諸表に対して平成24年12月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。